

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	ワークくわの木かなぎライディングパーク
住 所	浜田市金城町久佐イ1390-8
電話番号	0855-42-2222

事業所番号	3210700385
管理者名	曾根正和
対象年度	令和 3 年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		70 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方 (※)

◎ ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		25
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		7 点
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)		7

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上 (※)

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上半数未満であった 参加した職員が半数以上であった		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回の場合 2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている いずれの取組も行っている		
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○
1回の場合 2回以上の場合		
◎ ⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		4

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動

乗馬施設として、ホースセラピーに重点を置いた活動を行っている。島根あさひ社会復帰促進センターでのホースプログラム活動や、近隣小学校の支援学級や不登校児童を対象としたホースセラピーを提供している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数									
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70	
生産活動	5点	20点	25点	40点						40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点						25
支援力向上	0点	15点	25点	35点						15
地域連携活動	0点	10点								10

合計	
160	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和3年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	16,444	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,628	人	利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（平成30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,759,414	円	利用者に支払った賃金総額	12,709,689	円	収支	49,725	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和1年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,631,139	円	利用者に支払った賃金総額	12,573,778	円	収支	1,057,361	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	2名
※取得を進めた免許等：	刈払機取扱作業者
制度の活用内容：	資格の取得に係る費用の助成

② 利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数	0名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※登用した日	年 月 日
勤務形態：	
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（在宅勤務）：	時 分～時 分
職務内容：	

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（コアタイム）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（短時間）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（早出の場合）：	時 分～時 分
就業時間（遅出の場合）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数	4名
◎計画的付与制度を活用した人数	0名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>
	計画的付与制度 <input type="checkbox"/>
取得した期間：	
取得日数・時間	日 6時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数	0名
※取得した内容：	
取得した期間：	月 日～月 日
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎研修実施回数	外部2回/内部 回
対象職員数	5人
うち研修受講者数	2人
※研修名	A型事業所経営安定化研修
研修講師	ホープ就労・生活支援センター永田昇氏
実施日・受講者数	11月26日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	0回
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	中国地区支援スタッフ委員会
実施日/参加者数	10/28 4名 2/17 4名
	リモート形式での実施

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数	2回
※商談会等名	チームかなぎ例会
主催者名	浜田市産業建設課ほか
日時	9/3 3/30
内容	観光協会、近隣の温泉組合、施設と共同した誘客企画、研修等会議

⑤ 職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	<input type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦ 第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ワークくわの木かなぎライディングパーク
住所	浜田市金城町久佐イ1390-8
電話番号	0855-42-2222

事業所番号	3210700385
管理者名	曾根正和
対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>島根あさひ社会復帰促進センターでのホースプログラム活動への協力。 利用者が飼育管理を行っている乗用馬の提供。 4月～12月 年28日実施。</p>	<p><活動の様子></p> <p>【活動の様子】</p> <ul style="list-style-type: none">・基本年間3クール（令和3年度から2クール）実施している。・プログラムの枠組は下記の通り・1クール・全12回・馬場7回【120分】，教室5回【90分】・水曜グループ【6名】・木曜グループ【6名】・海外のホースセラピー団体，Equine Assisted Growth and Learning Association（通称：イアガラ）の手法をモデルとしている。・教室授業のみ実施する他の教育プログラムとは異なり，ホースプログラムでは，個性を持つ馬と接する姿と彼らが語る場面を観察することが可能ため，言動の不一致が顕著に出る。この様子を訓練生にフィードバックすることにより，訓練生自身に気付きを与える機会が増えた。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・島根あさひのホースプログラムでは，「自分を知る」ことを目的としている。この目的を設定した背景として，これまでの入所時調査や他の教育プログラムで受刑者と関わる中で，彼ら自身，なぜ犯罪をしたのか，その原因を理解できていない者が多数いることに着目（例えば，やめたいけどなぜかやめられないといった薬物・酒・ギャンブル等の依存の問題を抱えている者又は，口より先に手が出てしまうといった感情コントロールに課題を抱える者など）。したがって，イアガラの手法を取り入れることにより，自分自身を多角的に知ることが可能になり，再犯防止に役立つであろうという仮説を立てた。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・ホースプログラム処遇効果評価の統計的な処理は，現在，整理中である。・ホースプログラム修了後，より良いプログラムを創っていくという目的で，体験を共有し合う座談会を実施している。その中で，参加者から聴かれた声をいくつか下記に示す。・人間関係については深い部分まで考えられた。・大きいから怖い，いろいろな性格が分かってくるので，人間にも置き換えられる。一目見て狂暴そうだったら付き合いをしなかった。そう判断していたのはもったいなかった。・馬は純粋で感情を出す。人間はにごっている。プライドとかいじめがあつて。馬のようなすがたがベスト。人間本来の姿ではないか。
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">・社会復帰への支援に参加させて頂くことで地域で必要とされる施設を目指す。・飼育管理する乗用馬が地域で活用されることで，利用者の意欲向上や社会参加をはたす。	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・セラピーとしての利用効果を知ってもらうことで，観光乗馬だけでなく，不登校児童や支援学級児童の乗馬体験受け入れなどを実施している。・子供たちの体験や見学が増えることで，利用者の作業意欲も向上している。	

連携先の企業等の意見または評価

<p>・金城職員の協力のもと，テーマごとに馬の個性を活かしたセッションを実施することが可能になり，受刑者が抱える課題をより現実的に扱えるようになった。また，3頭という馬の頭数（数年前までは2頭）を利用させて頂くことにより，家族，兄弟，友人関係について考える機会を提供しやすくなった。</p> <p>・希望制を導入して以来，訓練生自身がモチベーションを持って参加しているため，課題のテーマについて考えようとする姿勢が顕著に見られるようになった。</p> <p>・良く調教されている馬を提供いただき，安全にプログラムを実施することが出来ている。また数多い馬の中から課題に合った馬を選びレンタルさせて頂けることによって，幅広いプログラムを行うことが出来るようになった。</p>			
連携先企業名	島根あさひ社会復帰促進センター SSJ株式会社	担当者名	吉田